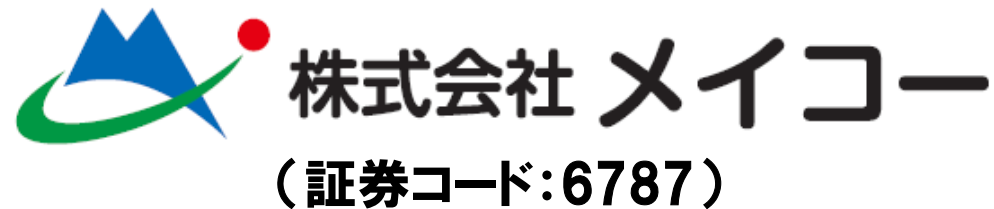


2013年度

決算説明会資料

2014年5月21日



1

2013年度 決算概要

2

2014年度 業績見通し

2013年度 決算のポイント

決算概要

売上高、前年比131%の増加
前年度の赤字決算から黒字に転換

プラス要因 (前年同期比)

車載向け基板の堅調な伸長(中国広州・武漢)
アジア・中華系スマートフォン向け基板の
好調な受注(中国武漢・越南)

マイナス要因 (前年同期比)

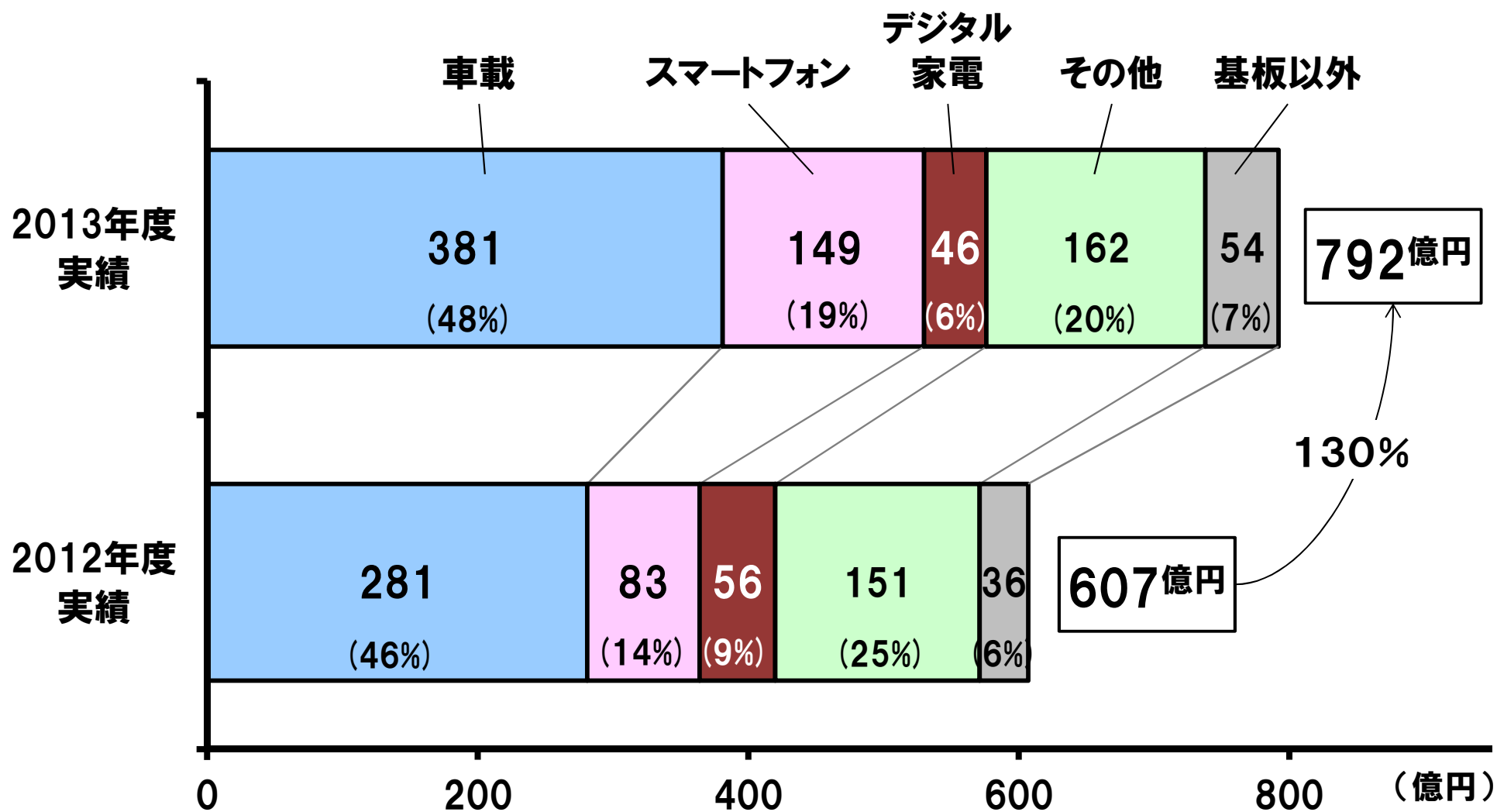
越南火災事故の影響
第4四半期における、一部スマホ顧客の受注減速
製品価格の下落 ~ 車載向け ▲3-5%、スマホ向け ▲10-15%

2013年度 連結決算概況

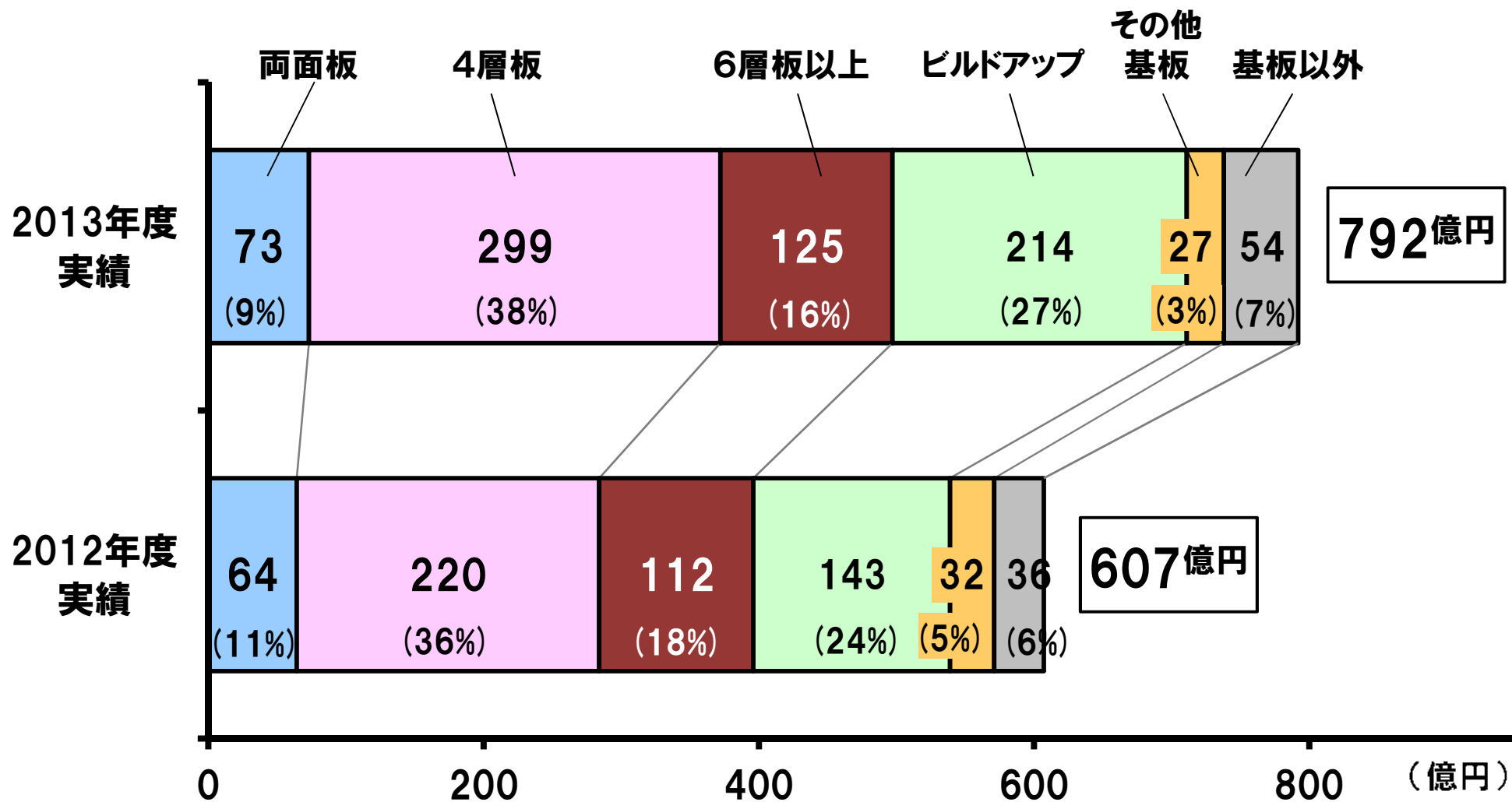
(単位:百万円)

	2013年度 実 績		2012年度 実 績		前年比	増減率
売 上 高		79,231		60,709	18,522	130.5%
営 業 利 益	1.2%	922	▲1.0%	▲605	1,527	—
経 常 利 益	2.4%	1,931	▲0.6%	▲386	2,317	—
当期純利益	0.0%	23	▲2.6%	▲1,567	1,590	—

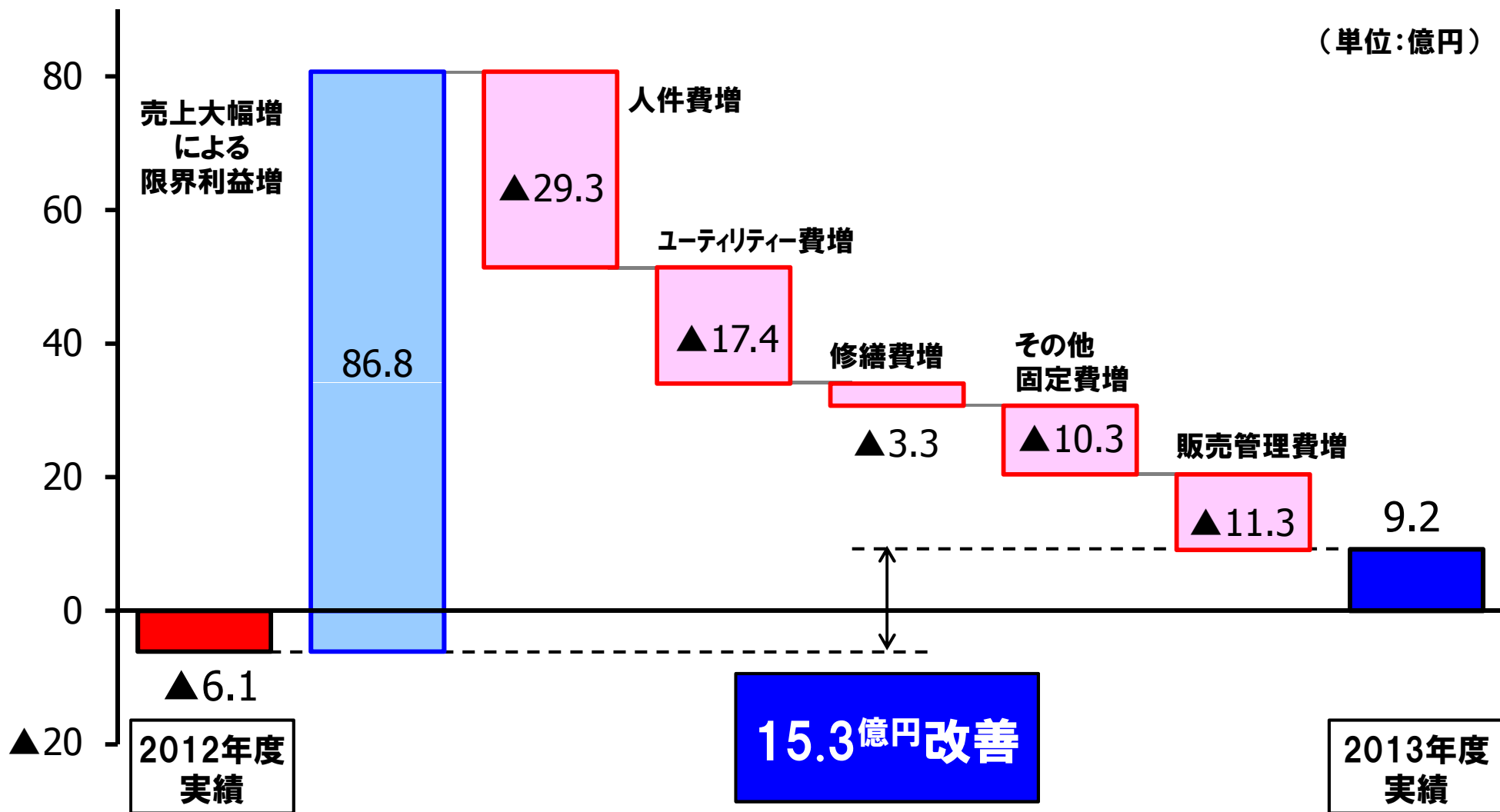
2013年度 用途別販売実績



2013年度 品種別販売実績



2013年度 営業利益増減要因(対前年比)



2013年度 海外工場実績

広州工場 : 車載基板の堅調な伸び ~ 売上高15%増、営業利益横ばい
武漢工場 : 中華系スマホ・車載の堅調な受注増 ~ 売上高55%増、黒字転換
越南工場 : アジア系スマホを中心とした受注増 ~ 売上高2.4倍へ、赤字縮小

(単位:百万円)		2013年度 実績		2012年度 実績		対 前年実績	
広州工場	売上高		31,804		27,661		4,142
	営業利益	4.9%	1,544	5.7%	1,571		-27
武漢工場	売上高		27,332		17,665		9,666
	営業利益	0.1%	19	▲14.2%	▲2,516		2,534
越南工場	売上高		8,301		3,391		4,911
	営業利益	▲9.5%	▲791	▲43.1%	▲1,462		670

1

2013年度 決算概要

2

2014年度 業績見通し

2014年度 市場動向

自動車

自動車市場は好調に推移
～ 前年比4%増の約87百万台
エレクトロニクス化の進行により、基板需要も増加

スマートフォン タブレット

スマートフォン市場 ～ 前年比29%増の12.8億台
タブレット市場 ～ 前年比20%増の2.4億台

その他基板

産業用、ヘルスケア、エネルギー関連分野が成長

2014年度 事業推進のポイント

車載及びスマートフォン用基板を軸に売上を拡大し、品質及びコスト改善を推進して増収・増益を目指す

販売

1. 車載用基板市場における拡販体制の強化
2. ハイエンドスマートフォン用基板の受注拡大
3. アセアン地域における新規顧客の開拓推進

生産

1. ベトナムにおける生産体制の整備増強
2. 車載用基板市場において生産キャパ、品質でNo1を目指す

技術開発

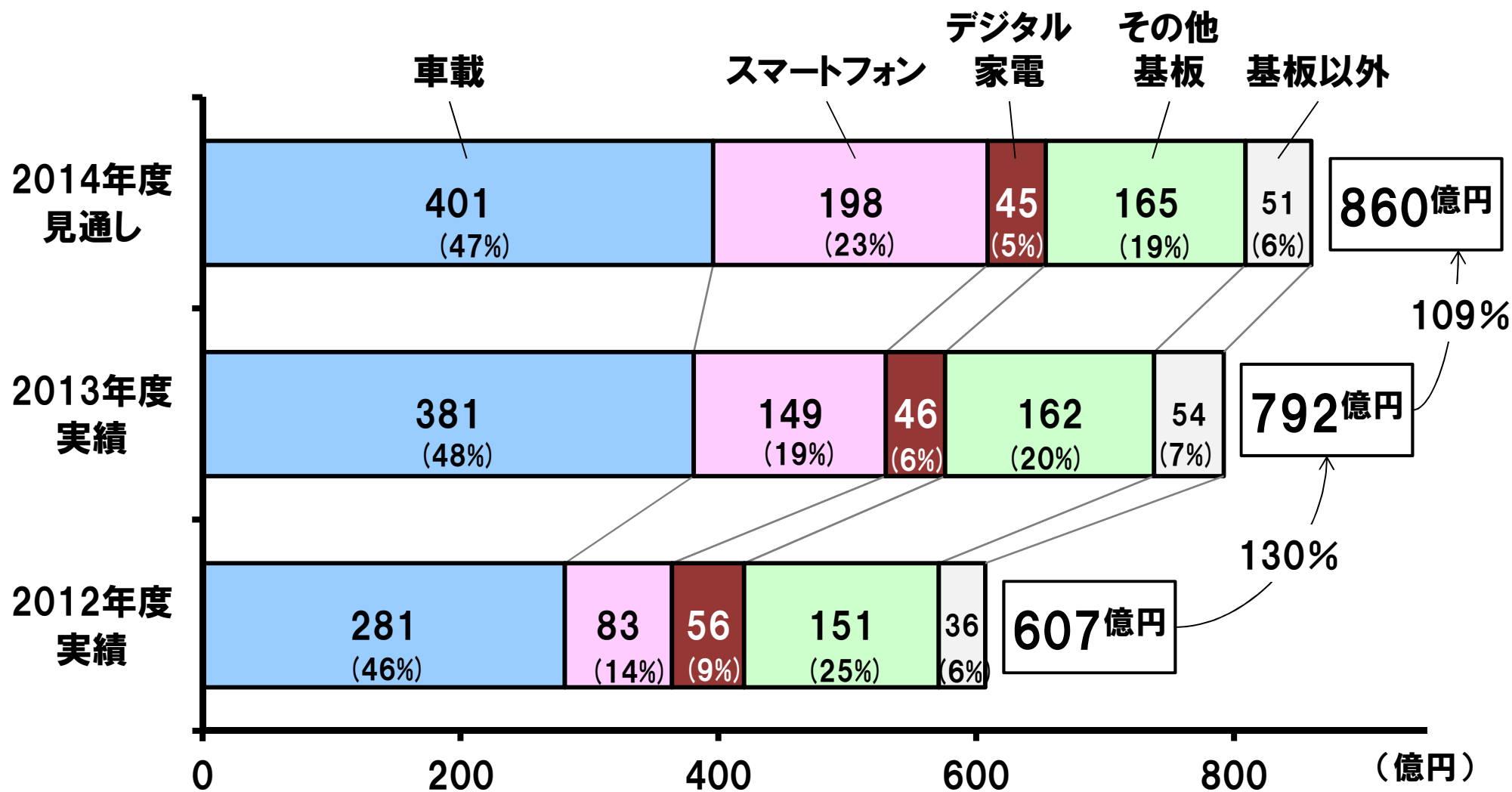
1. 顧客ニーズを先取りした新製品の開発及び市場投入推進
 - ・ 車載向け → HDI基板、高周波基板
 - ・ ハイエンドスマートフォン向け → 高多層エニーレイヤー基板

2014年度 連結業績見通し

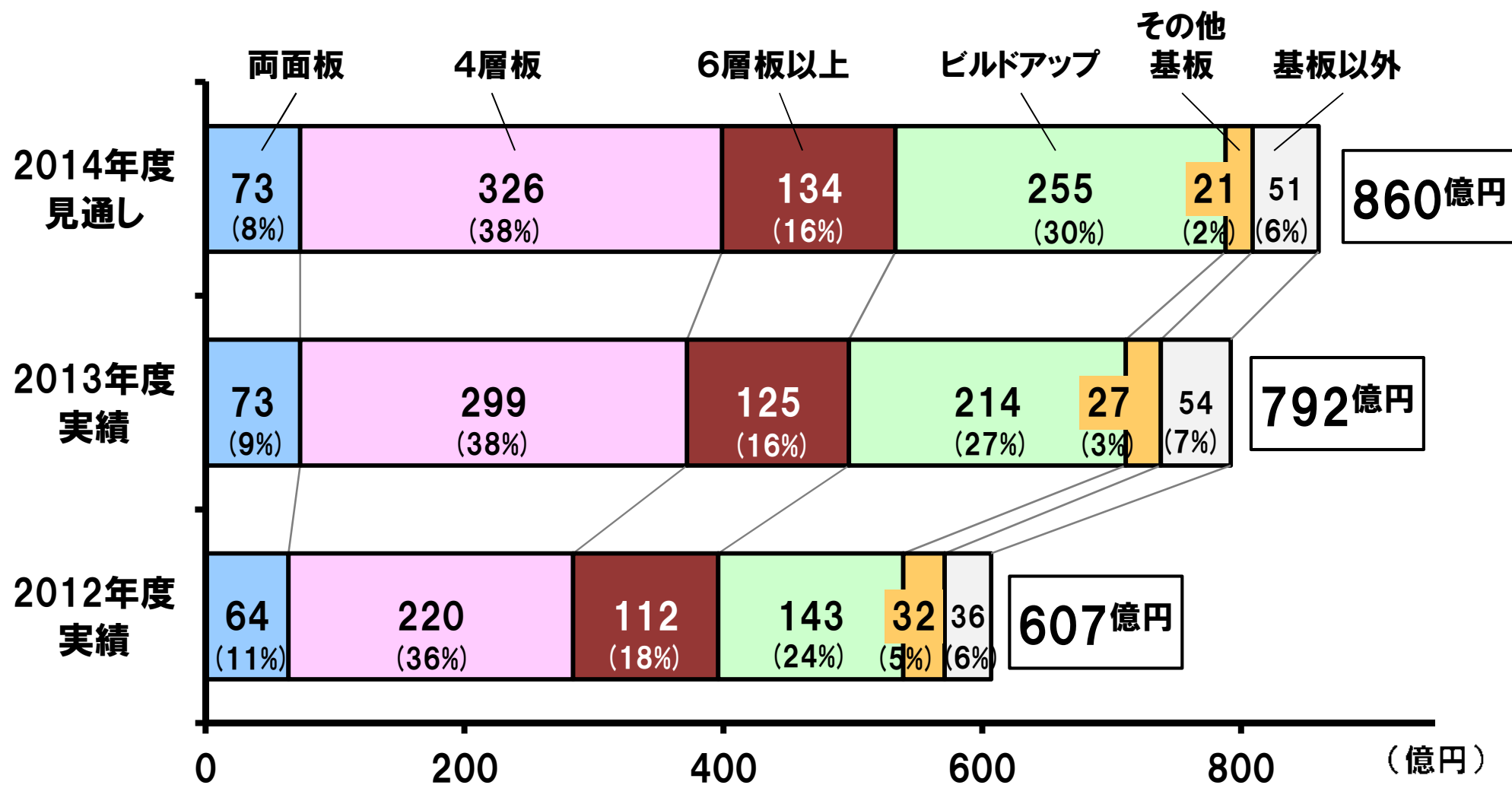
(単位:百万円)

	2014年度 見通し			2013年度 実績	前年比 (増減率)
	上期	下期	年間		
売上高	41,500	44,500	86,000	79,231	+6,769 (108.5%)
営業利益	1.6% 670	4.1% 1,830	2.9% 2,500	1.2% 922	+1,578 (2.7倍)
経常利益	0.6% 260	2.8% 1,240	1.7% 1,500	2.4% 1,931	-431 (77%)
当期純利益	0.2% 70	1.4% 630	0.9% 700	0.0% 23	+677 (30.4倍)

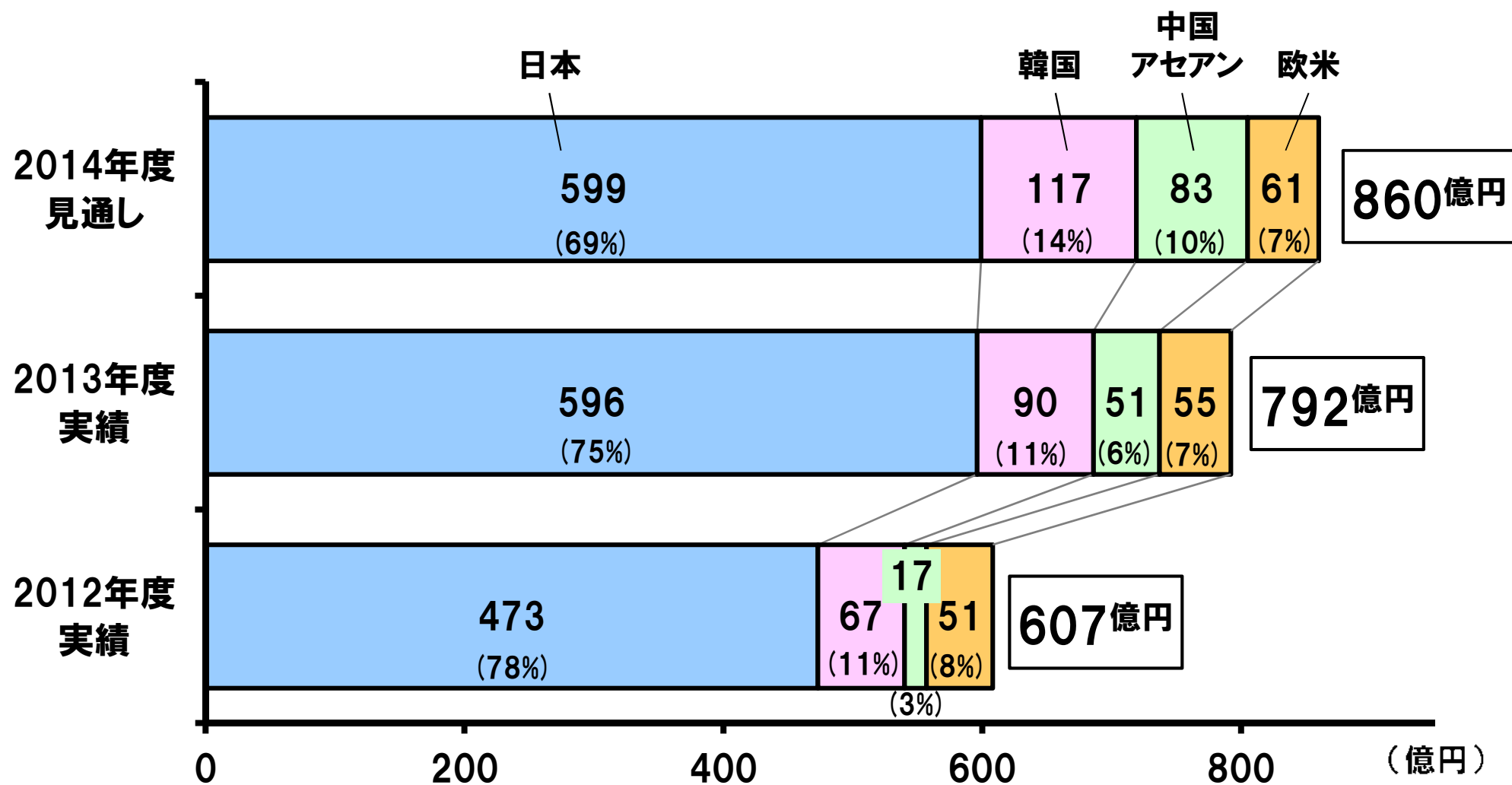
2014年度 用途別販売



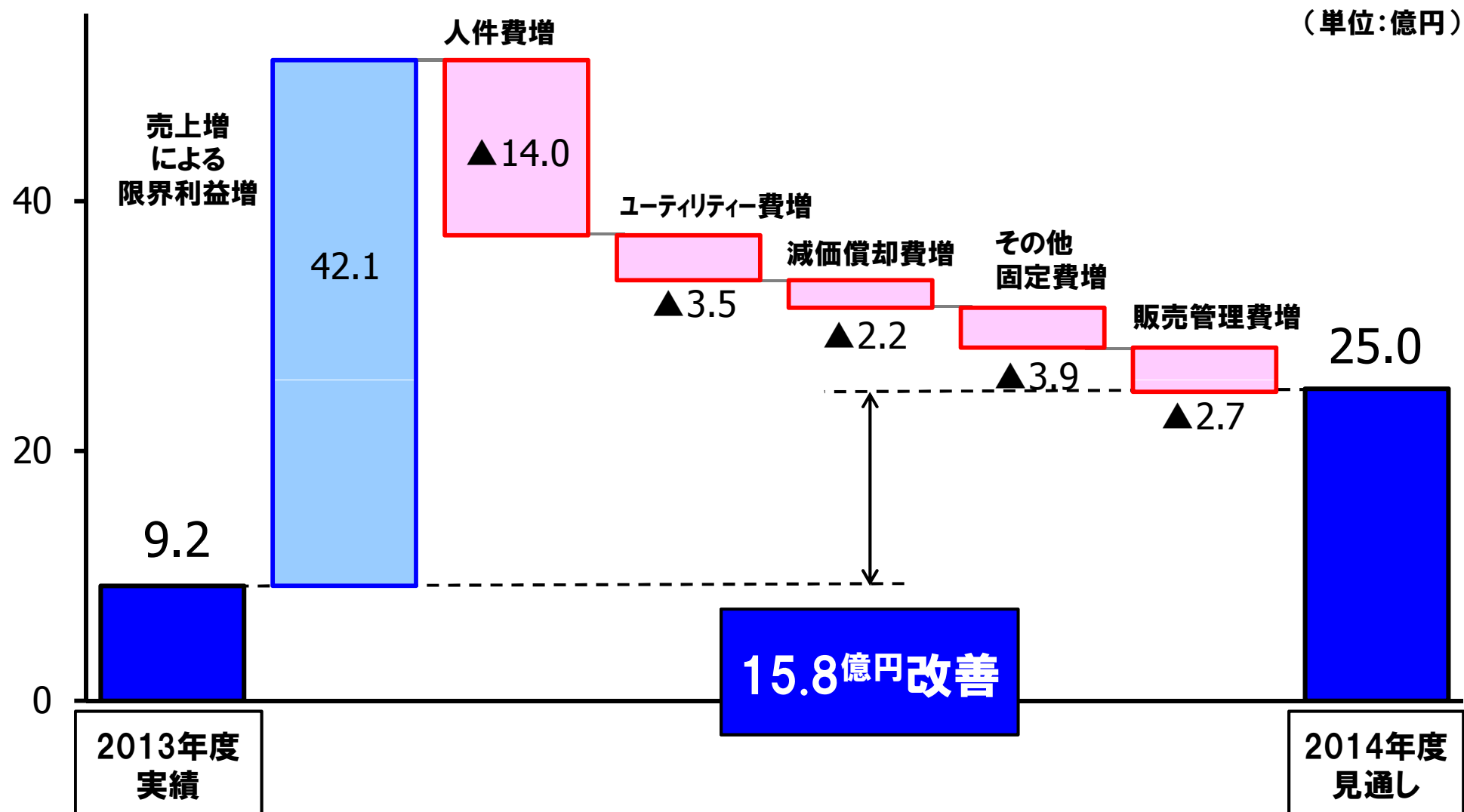
2014年度 品種別販売



2014年度 顧客国籍別販売



2014年度 営業利益増減要因分析



広州工場 重点施策及び見通し

重点 施策

世界最高の車載基板工場を目指す
⇒ 安定した高信頼性基板の生産

(単位:百万円)

	2014年度 見通し	2013年度 実績	前年比
売上高	28,697	31,804	-3,107
営業利益	4.2% 1,202	4.9% 1,544	-367

武漢工場 重点施策及び見通し

重点 施策

1. 第一工場：
車載基板の生産量拡大
2. 第二工場：
生産機種のみドル・ハイエンドスマホ向けへの絞込み

(単位:百万円)

	2014年度 見通し	2013年度 実績	前年比
売上高	30,749	27,332	3,391
営業利益	2.4% 740	0.1% 19	721

ベトナム工場 重点施策及び見通し

重点 施策

1. ハイエンドのスマートフォン向け基板の拡大
2. アセアン顧客向けビルドアップ基板の拡大
3. 独シュバイツァー社と合併の
車載基板生産ラインの立上げ

(単位:百万円)

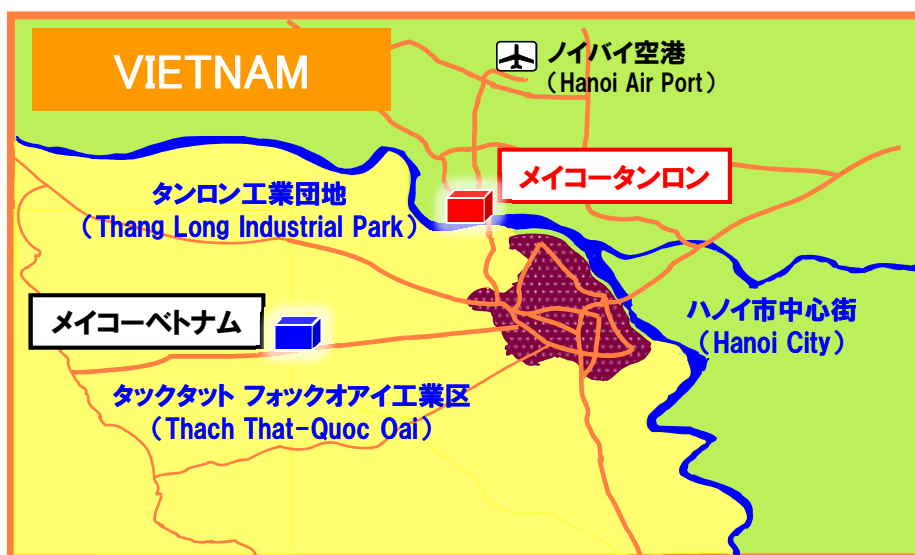
	2014年度 見通し	2013年度 実績	前年比
売上高	13,840	8,301	5,538
営業利益	5.0% 690	▲9.5% ▲791	1,481

ベトナム新会社設立について①

■ ベトナムにおける生産能力増強の為に、2番目の製造新会社を設立いたします

新会社の概要

1. 会社名 : Meiko Electronics Thang Long Co., Ltd. (メイコータンロン)
2. 所在地 : ベトナム社会主義共和国 ハノイ市 タンロン工業団地内
※ Panasonic Vietnam Co., Ltd. 社の敷地建屋内に設置
3. 工場規模 : 2階建て、延べ床面積約31Km²
4. 資本金 : 15百万USD(約15億円)、株式会社メイコー100%出資
5. 会社設立 : 平成26年7月(予定)



- ロケーション
- 空港から車で20分
 - ハノイ市内から車で約20分
 - メイコーベトナムまで車で約40分

ベトナム新会社設立について②

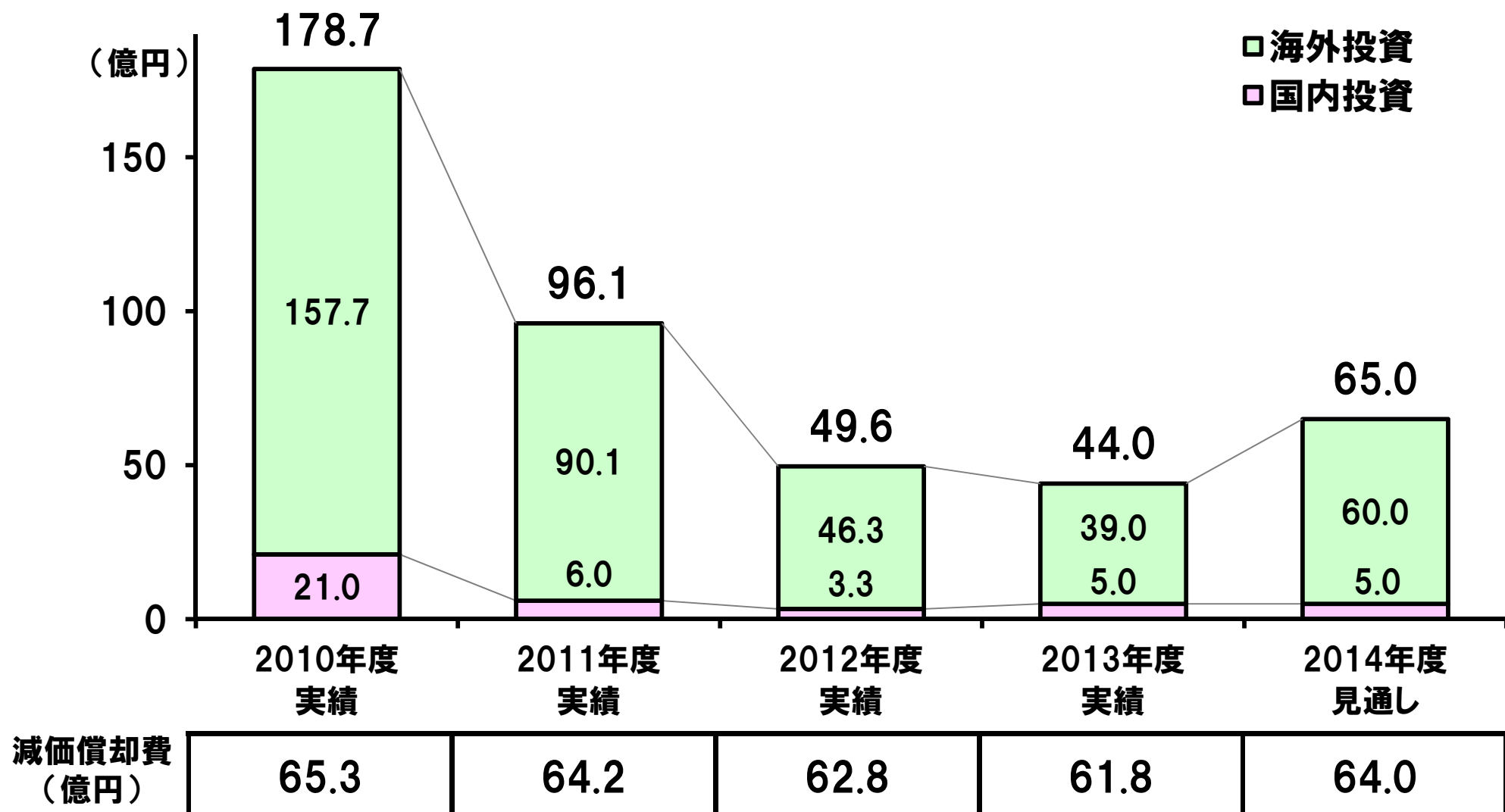
新会社設立の 目的

1. 生産拠点の中国一極集中からの分散化
2. ハイエンドHDI基板の生産強化

新会社の特徴

1. パナソニック社の設備を購入し、建屋を借用する
⇒ 整ったインフラ及び高性能製造装置を活用し、
高付加価値商品に対応
2. 需要の増加が期待できるハイエンドの車載向けHDI基板、
HDIモジュール基板の生産拠点とする
3. 当面はハイエンドスマホ向け基板の生産を行う

2014年度 設備投資計画



商品開発 ～ 車載用基板

環境の追及

ハイブリッド・低燃費エンジンの進化への対応

大電流・高放熱基板の生産拡大

1. 厚銅基板
2. 銅ピン挿入基板
3. 銅インレイ基板

安全の追求

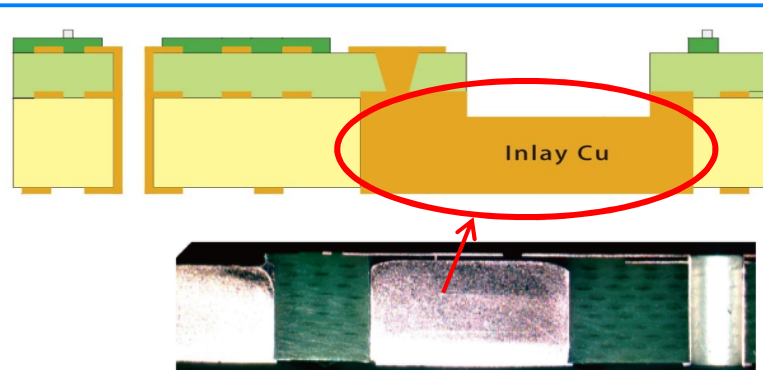
自動走行、衝突防止の安全性追求への対応

1. レーダー用高周波基板
2. ステレオカメラ用の小型高機能基板
⇒ 高密度HDI、M-VIA Flex基板

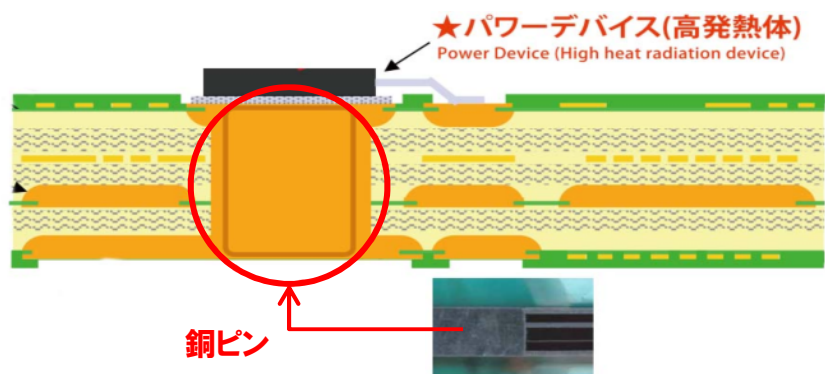
商品開発 ~ 車載用基板

1. 大電流、高放熱基板

① Inlay基板 ~ 銅塊埋め込みによる高放熱多層基板



② 銅ピン挿入基板

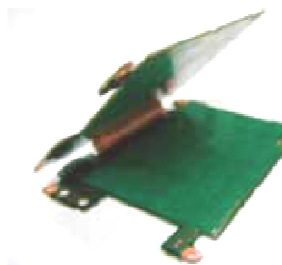


2. M-VIA Flex 基板

■ ポリイミドを使用しないフレックスリジッド基板

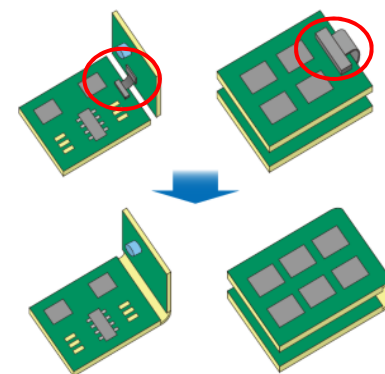


断面図

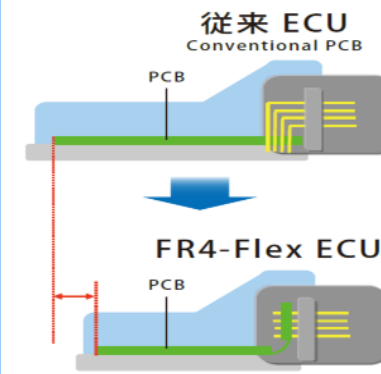


180° 折り曲げ後

コネクタ削除



省スペース小型化



商品開発 ～ ハイエンドスマホ用基板

ハイエンドスマホの
高機能化

エニージェネレーション基板の進化への対応

1. 細線化
2. 高多層化
3. 薄型化

高多層基板

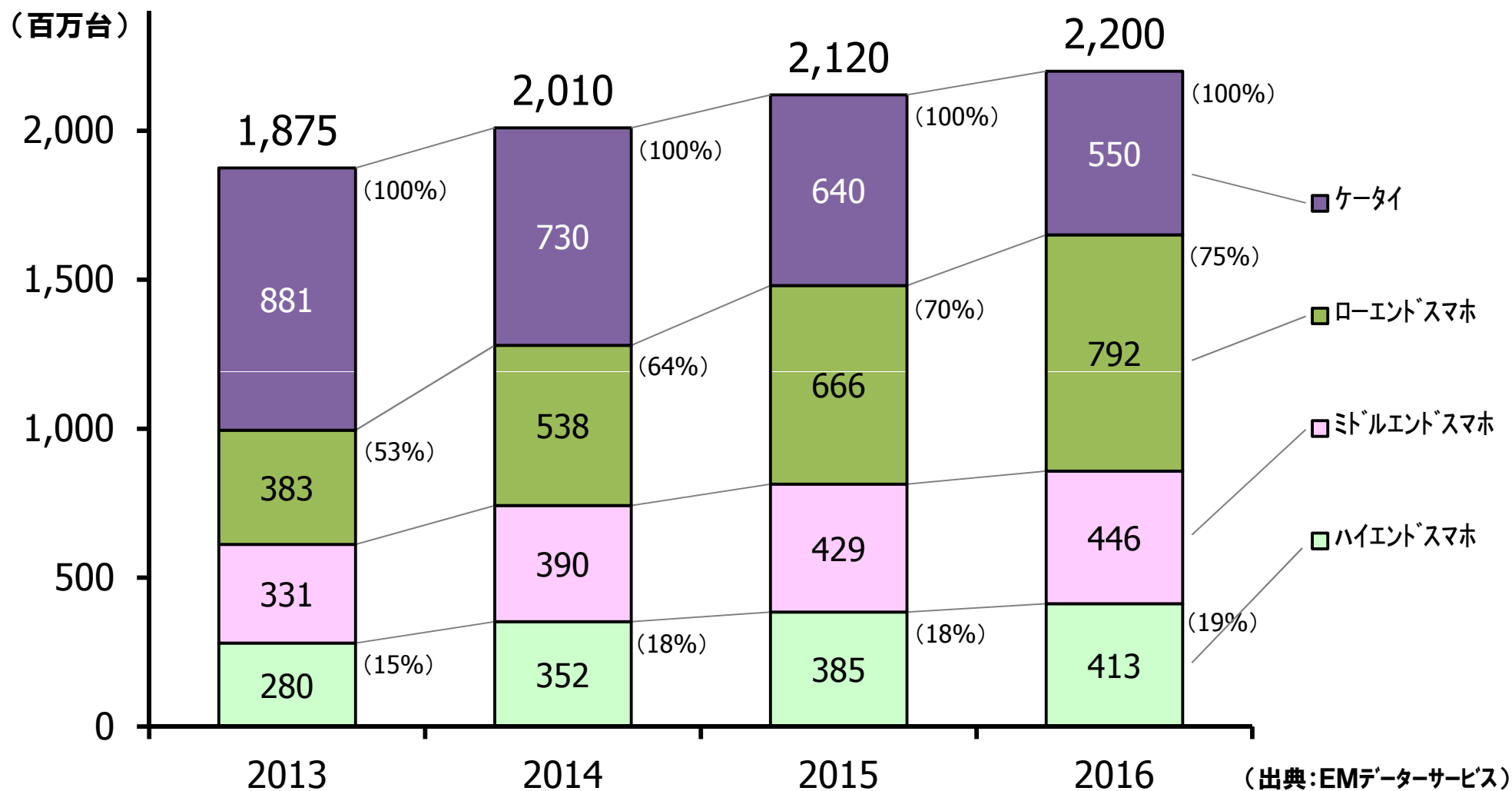
12層基板



14層基板



携帯電話市場動向予測





<http://www.meiko-elec.com/>

注意事項

本資料には過去の事実以外に今後の業績見通し等の計画・戦略が含まれますが、本資料は金融商品取引法の開示情報ではありません。

これらの見通しは過去の事実ではなく、現時点で当社が把握できる情報で判断した想定及び所見で作成した見通しです。

特に電子回路基板業界では原材料価格の変化、多様な顧客市場動向、技術動向の変化、為替変化、税制・諸制度の変更、自然災害、国際紛争、その他、様々なリスク・不確実性があり、実際の実績は見通しと異なることがございます。